

片原町☆まなび寄席 「林家正雀落語会」を開催しました

平成29年4月20日、多目的ホールにて落語寄席を開催しました。



【演目】

おもろや しょうじ 想呂家 笑志さん『ん廻し』

はやしや しょうじやく 林家 正雀さん 一席『松山鏡』

二席『田能久』

三席『音曲風呂』

前座を勤めたのは、今年初めに当館で開催した「新春 男前寄席」にも御出演いただいた想呂家 笑志さん。時節や、時事ネタを盛り込んだ「マクラ」から早くも会場から笑いが沸き起こっていました。その後、本題へ。流れるような噺に聞き入っていました。



そして、いよいよ、正雀師匠の登場です。息づかいや、間合いなど、会場の空気が一変し、真打の落語の世界へと引き込まれました。二席目の『田能久』は、阿波の国、徳島の在・田能村の農民の久兵衛が、伊予の宇和島から故郷へ戻る道中、うわばみ（大蛇）と遭遇した噺です。聞き慣れた地名が出てくると、より一層、情景が浮かびます。



正雀師匠の粋な計らいで、会場の皆さんからの質問時間を設けていただきました。会場からは、次から次へと手が挙がり、正雀師匠が弟子入りした当時のことを、小噺風にお答えいただく場面もあり、一段と笑いを誘っていました。

最後に、歌舞音曲（寄席の踊り）『奴さん姐さん』をご披露いただき、大盛況のうちに、公演が終了しました。